

『新しい地道』という提案

～舗装の前に～

2024. 9

市中にあってなお緑多く、季節を問わず散策の人が絶えない「哲学の道」は、私たち地元民のみならず京都の誇りです。

「哲学の道保勝会」は長年、この豊かな環境を少しでもあとの人達に残したいと、微力ながら活動して来ました。

素晴らしい道ですが、とはいっても、今の「哲学の道」に問題がないわけではありません。

地道であるがために…

- ・雨のあとの水たまり
- ・穴埋めに行政が使うバラス(小石)の飛散
- ・車イスの利用者にとっての不便
- ・近年は、以前、導水管理設に使われた石が飛び出して歩行すら困難な状況…等々。



保勝会としても、どうにかできないものだろうかと頭を悩ませ続けて来ました。

今年度は、新たに「道路問題検討チーム」を作り、他の色々な「道」を調査する事も含め、道のあり方を検討することになりました。

この5月に、すでに観光道路として一定景観に配慮している「舗装道路」を調査してまわりました。「祇園」「上七軒」「織成館」「古川町」「宮川町」「表千家・裏千家前」「五条鴨川堤」の、市中7箇所です。

これらの道は、確かに初めは美しかったのですが、その後、水道・ガスの工事や老朽化などによる道路修繕が入ると元の状態に戻されず、いわゆる「パッチワーク」状態になり、逆に景観を壊しているところがたいへん残念でした。

